

2022年8月4日

福井県知事 杉本 達治 様

オール福井反原発連絡会  
原子力発電に反対する福井県民会議  
福井から原発を止める裁判の会  
サヨナラ原発福井ネットワーク  
原発住民運動福井・嶺南センター  
原発問題住民運動福井連絡会

## 老朽美浜3号機の稼働を行う事が無いよう求める申入書

日頃より、住民の命と健康を守り、暮らしの向上を進めるための行政を進められています貴職に対し、敬意を表します。

さて、私たちは8月1日、超老朽化した関西電力美浜3号機を動かして、もしものことがあったら取り返しがつかなくなることを指摘し、稼働を行う事が無いように貴職に申入れしました。

貴職はそのとき、すでに、同3号機のA封水注入フィルタ付近での放射能を含んだ水の漏れ事故を知っていたはずですが、それを県民に報告しませんでした。これは、貴職が関電の立場を擁護しているとしか理解されず、県民への重大な背信行為です。

再稼働を目指して準備してきたにもかかわらず、関電が再稼働の直前に事故を起こしたことは重大です。また、これまで再稼働の直前や直後に冷却系統の配管で事故・故障が頻発している事実は、重大事故の前兆といわざるを得ません。

今回の事故原因は、同フィルタ付近の機器の点検や保守整備、配管や部品交換時の溶接ミスやボルトの閉め忘れなどの施工ミスによるものと考えられます。また、長年の運転により、約320℃で160気圧の高温・高圧の蒸気が流れる主蒸気管が侵食・腐食され、また、他の冷却配管や機器で熱疲労や金属疲労、応力腐食割れなどの損傷や亀裂が起きる危険性が高まっています。

こうした事故・故障は、完全に防ぎきれるものではありません。それは、原発システムの構造そのものが高度に複雑であり、また、保守点検の完全実行の難しさに加え、電力会社の安全意識の緩みと欠如、さらに、放射線被ばくをともなう危険な作業を下請けに押しつけるという体質によるものと考えられます。

よって、老朽原発の再稼働などゆる許されるものではありません。重大事故につながる美浜3号機の再稼働を行う事が無いよう求めます。

そのうえで当面のこととして、事故原因を徹底的に調査し、その結果を関電の全ての原発に水平展開し安全総点検を行い、県民に明らかにするよう求めます。また、福井県原子力安全専門委員会を開催し、その結果を検証するよう求めます。

以上